

北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

ハバロフスク地方の環境状況および環境状況改善対策

- ・ ハバロフスク地方の着実な社会経済発展は、自然環境の多様性と生物多様性の保全なしでは考えられないものになっている。
- ・ ハバロフスク地方政府は、2007年6月27日付けで政令 No. 124「ハバロフスク地方の環境状況および環境状況改善対策」を公布した。この政令のなかで、大気中に放出される汚染物質や水資源に排水される下水排水量、固形廃棄物処理場の導入などの目標を定めたところであり、現在、その目標達成に向け、各種施策を実施している。
- ・ 国家環境監査の枠組みの中で、2008年には、環境保全局による804回の監査を行い、総額約880万ルーブルの罰金を科した。
- ・ ハバロフスク地方では、総面積62,600 m²の自然保護区があり、そのなかには、国立自然保護区が6区、国立禁漁区が25区、国立公園が1つ、自然公園が2つ、土地改良区が1区、生態的回廊が5つ、天然記念物が60件ある。
- ・ ハバロフスク地方の310種の植物、159種の動物が掲載されているレッドリストを新しく出版した。
- ・ 促成栽培できるビニルハウスの数が11棟から24棟へと約2倍に増え、その結果、年間350万本以上の針葉樹の苗を育てることができるようになった。
- ・ ハバロフスク地方では、廃棄物・リサイクル対策にも支援を行っており、リサイクル製品（合計90種類以上）を製造する企業数は30社にのぼる。
- ・ アムール川の環境状況改善をはじめ、積極的に国際協力活動も行っている。
- ・ ハバロフスク地方政府主導のもと、2008年1月29日、中華人民共和国の北京市で「越境川の有効な利用及び保全について」の露中政府間協定書が締結された。
- ・ ハバロフスク地方政府と黒龍江省、兵庫県、富山県との間の国際協力が拡大している。
- ・ ①テレビ番組、新聞などのマスメディア、②エココンクール、エコクイズなどの各種行事、③環境分野での専門的技能向上のための単科大学、④非営利団体のための知事助成金などを活用して、市民の環境教育を行っている。